日本医療検査科学会 会員の皆様へ

このたび、高橋理事長はじめ、学会関係者のご理解により、昨年の第 58 会大会の折に開催された RCPC（10 月 9 日）を学会 HP に掲載させて頂けることになりました。

掲載の目的は、当日の RCPC を検査データを勉強する材料にして頂くことです。本来なら、解読者の発表およびこれをまじえた質疑応答をまとめることが望ましいのですが、これには関係者の多大な労力が必要となります。そこで、これに代わるものとして、出題者による事例の提示と解説文書を掲載させて頂くこととなりました。出題者および出題者の所属施設（熊本大学病院中央検査部）の関係者の尽力のたまものです。

提示例は、糖尿性ケトアシドーシスの典型例ではありますが、解説文書を読んで頂くと、病態は千差万別であることがわかります。検査データを読むことの奥深さを感じ取って頂けるものと思います。自施設の勉強会・研修会で活用して頂けたらと存じます。

なお、当日は、コメンテーターを除き、すべて臨床検査技師の方々でした。司会者はベテランの方でしたが、他は 20 歳代、30 歳代の若い方でした。これまで、登壇者は医師が中心でしたが、それに勝るとも劣らぬ内容の RCPC でした。今後の RCPC のあり方を考えさせるものでした。関係者の方々の頑張りに敬意を表します。

最後に、今回の RCPC の掲載を機に、HP や機関誌に RCPC が掲載され、会員の皆様の学習の材料となることを期待します。　（記．コメンテーター　松尾）

事例から学ぶ検査の読み方 － RCPC（Reversed Clinicopathological Conference）

司会	三好 雅士（徳島大学病院 医療技術部）
	齊藤　翠 （藤田医科大学病院 臨床検査部）
解読	田中 綾香（久留米大学病院 臨床検査部）
	田中 千尋（佐世保中央病院 臨床検査技術部）
疑問・意見	川崎 眞子（九州大学大学 院生）
症例解説	福元 沙織（熊本大学病院 中央検査部）
コメンテーター	松尾 収二（天理よろづ相談所病院 臨床検査部)